

2024年1月24日
株式会社ベネッセ i-キャリア

「企業の新卒採用における生成 AI（ChatGPT 等）利用実態」に関する調査

新卒採用に関する業務で生成 AI を利用している企業は約 1 割

学生が就活で生成 AI を利用することについては、約 7 割の企業が肯定的

株式会社ベネッセホールディングスとパーソルキャリア株式会社の合併会社：株式会社ベネッセ i-キャリア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：乾 史憲）が運営する、新卒向け就活サービス「[doda 新卒エージェント](#)」及び新卒オファーサービス「[doda キャンパス](#)」は、顧客企業を対象に、「企業の新卒採用における生成 AI（ChatGPT 等）の利用実態」について調査しましたので、結果をお知らせいたします。

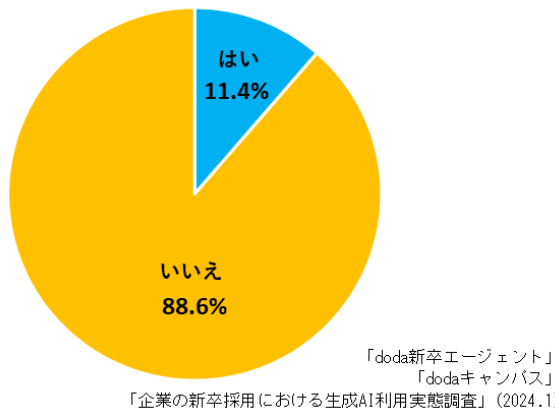
【調査結果サマリー】

- ・新卒採用に関する業務において、生成 AI（ChatGPT 等）を利用している企業は全体の 11.4%
- ・学生が生成 AI（ChatGPT 等）を利用することについては、「積極的に利用すべき」（6.3%）、「必要に応じて利用しても問題ない」（64.2%）となり、約 7 割の企業が学生の生成 AI 利用について肯定的という結果に
- ・企業側は、学生が就活のどのような場面で生成 AI（ChatGPT 等）を利用するのが望ましいと考えるかについては、1 位「業界・職種研究」（26.2%）、2 位「企業分析」（22.5%）
- ・企業や学生の生成 AI（ChatGPT 等）の利用が進むことにより、採用要件（求める人物像）に変化が生じるかについては、半数以上が「わからない」（54.5%）と回答。「いいえ」（36.4%）が「はい」（9.1%）を大きく上回る結果に

主な調査結果

新卒採用に関する業務において、生成 AI（ChatGPT 等）を利用している企業

【図1】 新卒採用に関する業務において、貴社では生成 AI（ChatGPT 等）を利用しているか（単一回答／n=176）



ベネッセ i-キャリアの顧客企業を対象に、新卒採用業務に生成 AI（ChatGPT）を利用しているか聞いたところ、88.6%の企業が「いいえ」と回答。「はい」は 11.4%となり、企業での利用は約 1 割にとどまることが明らかになりました。【図 1 参照】

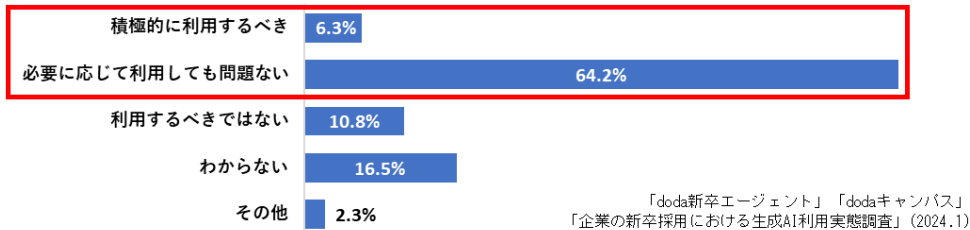
「はい」と回答した企業の具体的な利用場面の 1 位は「スカウト文面の作成」（33.3%）、2 位は「募集要項の作成」（30.3%）でした。また、65.0%の企業が生成 AI を利用することで「プラスの影響があった」と回答、その理由については、1 位「面談・面接などの対面コミュニケーションにかけられる時間が増えた」（35.0%）、2 位「採用基準の言語化・標準化に役立った」（25.0%）となりました。また、75%の企業が生成 AI の利用によって業務効率化が進んだと回答しています。

■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301

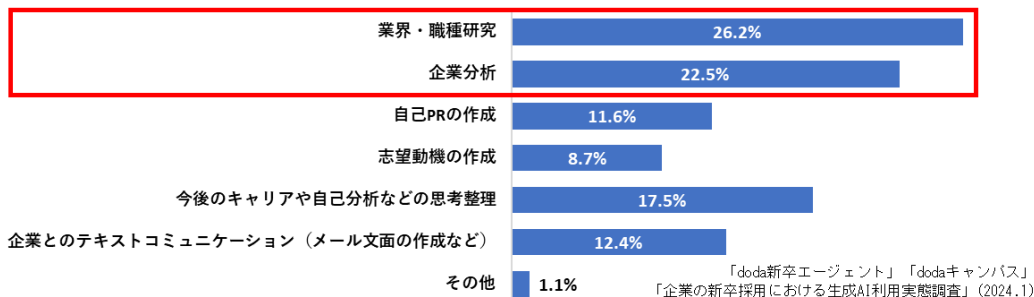
学生の生成 AI (ChatGPT 等) の利用について、企業としてどのように考えるか

【図2】 学生が生成 AI (ChatGPT等) を利用することに対する企業としての考え (単一回答/n=176)



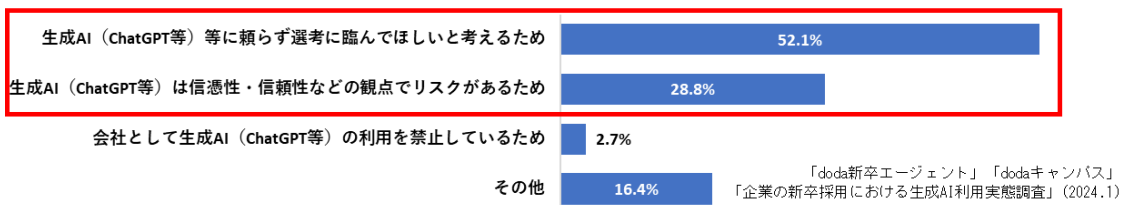
学生の生成 AI (ChatGPT 等) 利用について企業の考えを聞いたところ、「積極的に利用すべき」(6.3%)「必要に応じて利用しても問題ない」(64.2%) となり、約 7 割の企業が利用に肯定的であることがわかりました。【図 2 参照】

【図3】 企業として、学生は就活のどのような場面で生成 AI (ChatGPT等) を利用するのが望ましいと考えるか (複数回答/n=378)



就活のどのような場面での生成 AI (ChatGPT 等) 利用が望ましいと考えるかについては、1 位「業界・職種研究」(26.2%)、2 位「企業分析」(22.5%) となりました。【図 3 参照】

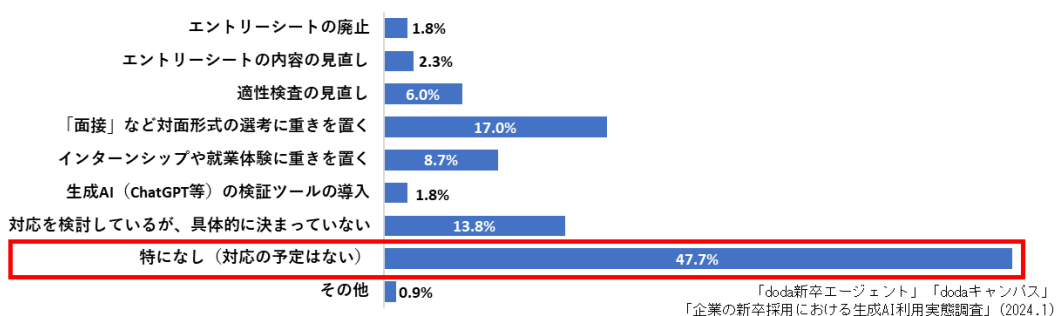
【図4】 企業として学生が就活に生成 AI (ChatGPT等) を利用すべきでないと考える理由 (複数回答/n=73)



一方で、学生が就活で生成 AI (ChatGPT 等) を利用すべきでないと回答した企業にその理由を聞いたところ、半数以上の企業が「生成 AI に頼らず選考に臨んで欲しいと考えるため」(52.1%) と回答しています。【図 4 参照】

学生の生成 AI (ChatGPT 等) の利用が進んでいる今、企業として対応を検討していること

【図5】 学生の生成 AI (ChatGPT等) の利用が進んでいる今、企業として検討していること (複数回答/n=218)



■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

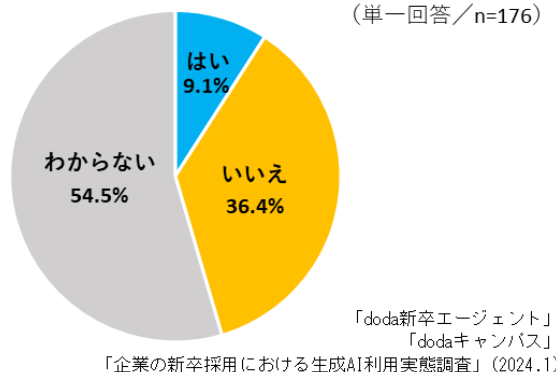
■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301

学生の生成 AI（ChatGPT 等）の利用が進んでいる今、対応を検討している（もしくは対応が決まっている）ことについて聞いたところ、約半数の企業が「対応の予定はない」（47.7%）と回答。何らかの対応を検討している企業においては、『面接』など対面形式の選考に重きを置く」（17.0%）、「対応を検討しているが、具体的に決まっていない」（13.8%）が上位となりました。【図 5 参照】

企業や学生の生成 AI（ChatGPT 等）の利用が進むことにより、採用要件に変化が生じるか

【図6】 企業や学生の生成AI（ChatGPT等）の利用が進むことにより、採用要件（求める人物像）に変化が生じるか

（単一回答／n=176）



企業や学生の生成 AI（ChatGPT 等）の利用が進むことにより、採用要件（求める人物像）に変化が生じるかについては、半数以上が「わからない」（54.5%）と回答。また、「いいえ」（36.4%）が「はい」（9.1%）を大きく上回る結果になりました。【図 6 参照】

【doda キャンパス編集長 岡本 信也 コメント】

今回の調査では、新卒採用に関する業務で生成 AI（ChatGPT 等）を利用している企業は、全体の約 1 割にとどまるものの、65%の利用企業においてプラスの影響があったことが明らかになりました。

2023 年 7 月に学生に対して実施した調査*では、就活に生成 AI を利用しない理由について「（企業側の評価など）就活に利用することに対する懸念や不安」をあげる学生も多くいましたが、今回の調査では 7 割の企業が学生の生成 AI 利用について肯定的という結果になりました。

また前回の調査では、就活に生成 AI を利用しないと回答した学生にその理由を聞いたところ、「就活は極力自分の力でやりたい」が上位となりました。これは今回の調査で、学生は就活に生成 AI を利用するべきではないと回答した企業の約半数が理由にあげる「生成 AI に頼らず選考に臨んで欲しいと考えるため」と一致しています。

今回の調査から、就活での生成 AI 利用は「業界・職種研究」や「企業分析」で利用するのが望ましいと考える企業が多いことも明らかになりました。学生は生成 AI 利用の有無にかかわらず、収集した情報を自身の就活にどのように活かしていくかが、今後ますます重要になってくるでしょう。

生成 AI（ChatGPT 等）の利用に関しては、国や社会として明確な方針やガイドラインが定まっておらず、リスクも想定しきれていないため、採用活動への利用については様子見という企業も多いことが伺えます。

現時点では個人情報／プライバシー情報などがすべてデータ化されるリスクもあります。学生の就活での利用についても、利用時にはリスクや、不確実・信ぴょう性のないものも含んだ膨大なデータをもとに予測した結果であることを理解した上で、利用することが大切です。また、日ごろから情報リテラシーを高めていくことも今後より重要になってくるでしょう。

*就活における ChatGPT（生成 AI サービス）の活用実態調査（大学 3、4 年生対象）

https://www.persol-career.co.jp/pressroom/news/service/2023/20230720_01/

【解説者プロフィール】 doda キャンパス編集長 岡本 信也

2006年、インテリジェンス（現パーソルキャリア）に入社。人材紹介事業に従事し、主に商社・不動産領域の法人営業として採用支援などを経験。その後、転職メディア事業において、中堅、中小企業を担当する法人営業組織のマネジメントに従事。

2018年からベネッセ i-キャリアに出向し、新卒オファーサービス「doda キャンパス」の立ち上げを経験後、同事業部の営業部長を経て、2023年4月に事業本部長、doda キャンパス編集長に就任。

**【調査概要】**

調査期間：2023年12月14日（木）～12月23日（土）

調査対象：「doda 新卒エージェント」「doda キャンパス」を利用している企業（1社1回答）

調査方法：Web アンケート回答方式

有効回答数：176社

回答企業属性：

〈業界〉IT・通信（24.4%）、メーカー（15.9%）、商社（10.8%）、金融（1.7%）、建設・プラント・不動産（17.6%）、コンサルティング・専門事務所・監査法人・税理士法人・リサーチ（1.7%）、人材サービス・アウトソーシング・コールセンター（5.1%）、小売・外食（6.3%）、運輸・物流（4.0%）、教育（1.7%）、その他（10.8%）

〈規模〉3,000名以上（3.4%）、1,000名以上3,000名未満（1,000～2999名）（9.7%）、300名以上1,000名未満（300～999名）（18.8%）、100名以上300名未満（100～299名）（36.9%）、50名以上100名未満（50～99名）（17.0%）、50名未満（1～49名）（14.2%）

■新卒向け就活サービス「doda 新卒エージェント」について < <https://doda-student.jp/> >

「[doda 新卒エージェント](#)」は、「就活に、プロの視点を。」をスローガンに、就職活動を行う学生と求人企業の最適なマッチングを提供するエージェントサービスです。年間16,000件以上のキャリアカウンセリングを行い、2,000名以上の就職・採用を支援しています（23卒対象サービス実績）。

■doda 発 新卒オファーサービス「doda キャンパス」について < <https://campus.doda.jp/> >

「[doda キャンパス](#)」は、学生が自身の努力や学び・経験などをデータベースに蓄積し、個性を可視化することにより、企業が自社のキャリア教育プログラムやインターン・採用選考等のオファーを送ることができる「doda 発 新卒オファーサービス」です。2023年5月時点で約99万1,000人の学生が登録をしており、国内最大級の学生データベースを保有しています。

■株式会社ベネッセ i-キャリアについて < <https://www.benesse-i-career.co.jp/> >

株式会社ベネッセホールディングスとパーソルキャリア株式会社が2015年4月に設立した合併会社です。株式会社ベネッセコーポレーションの大学教育事業部門とパーソルキャリア株式会社の新卒就職支援部門が一緒になりました。両社の力を最大限に活用して、大学の教育支援、学生の就活支援、および企業の採用支援を行う事業を推進しています。大学生向け教育事業と新卒学生に特化した就職支援事業を合わせることで、学生の力を伸ばし、学生が自分を活かせる職場に出会い、自らの力で社会に貢献できる人材になることを支援してまいります。教育事業と就職支援事業の一体的な運営を通じて「まなぶ と はたらく をつなぐ」ことを目指します。

■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301